

資料5 黒瀬川水系流域治水プロジェクト  
更新（案）

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、黒瀬川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取組みを実施していくことで、甚大な被害を生じさせた昭和60年7月洪水と同規模の洪水による浸水被害の解消を図る。



凡例

- 浸水範囲（計画規模1/50）
- 昭和60年7月洪水
- 河川
- 流域境
- 市町村境

**黒部市**

- ・災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知
- ・洪水浸水想定区域図の作成
- ・避難訓練への住民参加促進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・水防災教育、マイ・タイムラインの普及 等

**■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**

- ・河床掘削、堤防整備、橋梁架替 等【富山県】
- ・大谷ダムにおける事前放流の実施【富山県】
- ・森林整備・治山対策【富山県】
- ・雨水貯留施設の整備（開発行為における調整池など）【開発事業者】 等

**■ 被害対象を減少させるための対策**

- ・立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組【黒部市】 等  
(防災指針策定など)

**■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**

- ・災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知【富山県・黒部市】
- ・洪水浸水想定区域図の作成【富山県・黒部市】
- ・避難訓練への住民参加促進及び住民参加【黒部市・住民】
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進【富山県・黒部市】
- ・水防災教育（出前講座の活用）、マイ・タイムラインの普及及び作成【富山県・黒部市・住民】
- ・災害情報普及支援、浸水被害軽減対策【富山県・黒部市】
- ・水位計・監視カメラの活用【富山県】
- ・事業継続力強化計画の策定促進【富山県】



- 黒瀬川では、県、市が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。
  - 【短期】下蔵橋の架替によりボトルネック部を解消する。  
大谷ダムにおける事前放流等の基本協定の締結、体制構築・実施を行うことにより、洪水被害を軽減する。
  - 【中期】流下能力不足解消のため、黒瀬川の整備を実施する。
  - 【中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、河道掘削などの維持管理を実施する。
- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	黒瀬川の整備(河床掘削、堤防整備、橋梁架替等)	富山県	前沢橋等の架替によりボトルネック部を解消		
	大谷ダムにおける事前放流の実施	富山県	下蔵橋の架替によりボトルネック部を解消		
	森林整備・治山対策	富山県			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)	黒部市	立地適正化計画への防災指針の記載と取組など		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知、洪水浸水想定区域図の作成	富山県 黒部市	必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など		
	水位計・監視カメラの活用	富山県			

【事業費(R7年度以降の残事業費)】

■河川対策  
全体事業費 17.3億円※  
黒瀬川の整備等

※県の河川整備計画の残事業費を記載

気候変動を  
踏まえた  
さらなる対策を  
推進

(様式: 取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	河川改修(堤防整備 護岸工)		
事業・施策の名称	河川改修(堤防整備 護岸工)		
実施場所	黒瀬川		

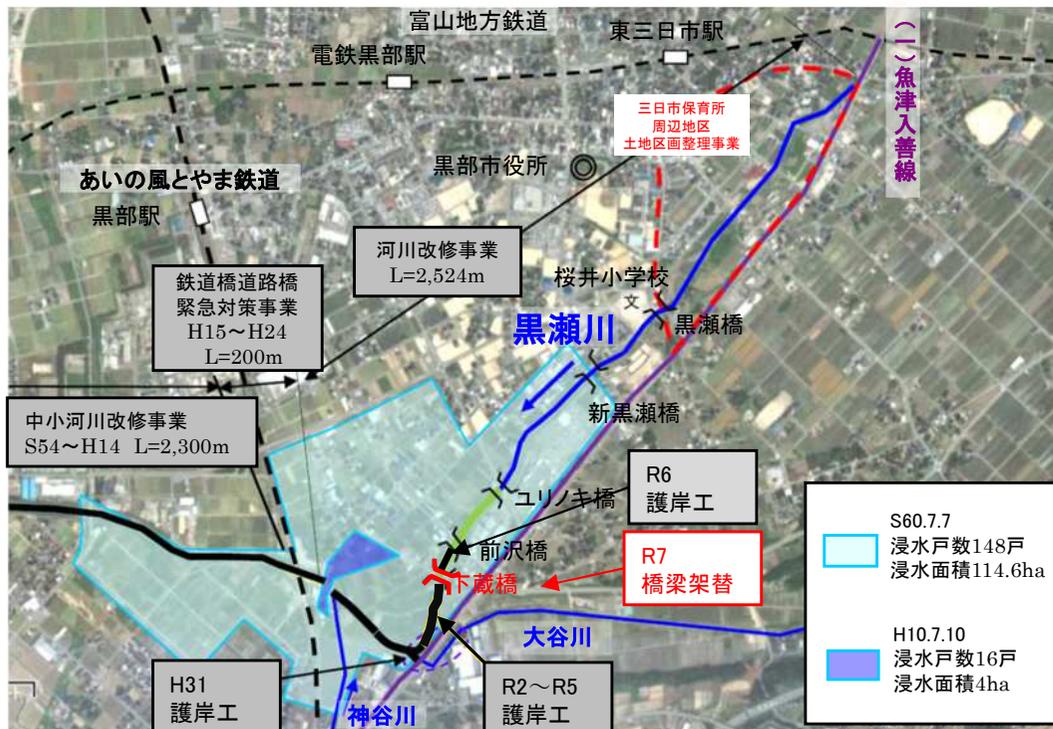
【対策概要】

黒瀬川は、黒部市南部の丘陵地から富山湾へ注ぐ河川であるが、狭く蛇行していることから、たびたび浸水被害が発生している。昭和54年より事業に着手し、平成24年度にはボトルネックとなっていたJR橋(当時)及び県道橋の架替を完了させ、現在は上流に向けて護岸工の整備を進めている。

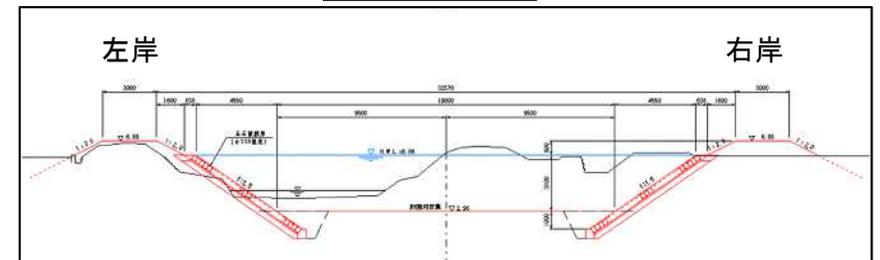
【事業内容】

事業期間 : 昭和54年～

内容 : 計画延長 5,024m (河床掘削、堤防整備(護岸工)、橋梁架替、用地補償)



黒瀬川の整備



大谷川合流地点出水時 H10.7



整備後 H31完成



(様式:取組事例)

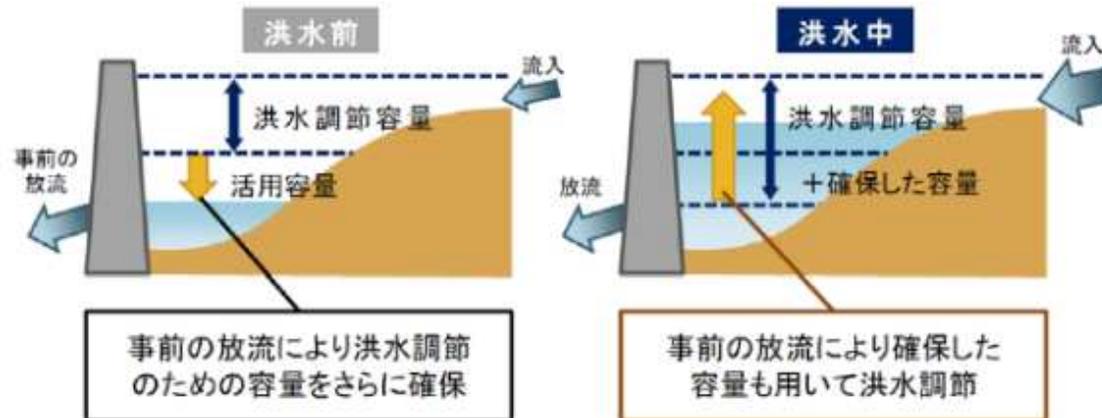
区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	大谷ダムにおける事前放流(実施)		
事業・施策の名称	大谷ダムにおける事前放流(実施)		
実施場所	黒部市 大谷ダム		

【対策概要】

大谷ダムにおける事前放流等の実施等



緊急時において既存ダムの利水容量を洪水調節に最大限活用し、ダム下流の浸水被害の軽減及び避難時間をかせぐ



大谷ダムは、大谷川総合開発事業の一環として、黒瀬川水系大谷川の黒部市吉城寺地先に、洪水調節・既得取水の安定化及び河川環境の保全・消流雪用水の確保を目的とする多目的ダムとして平成10年に完成しました。

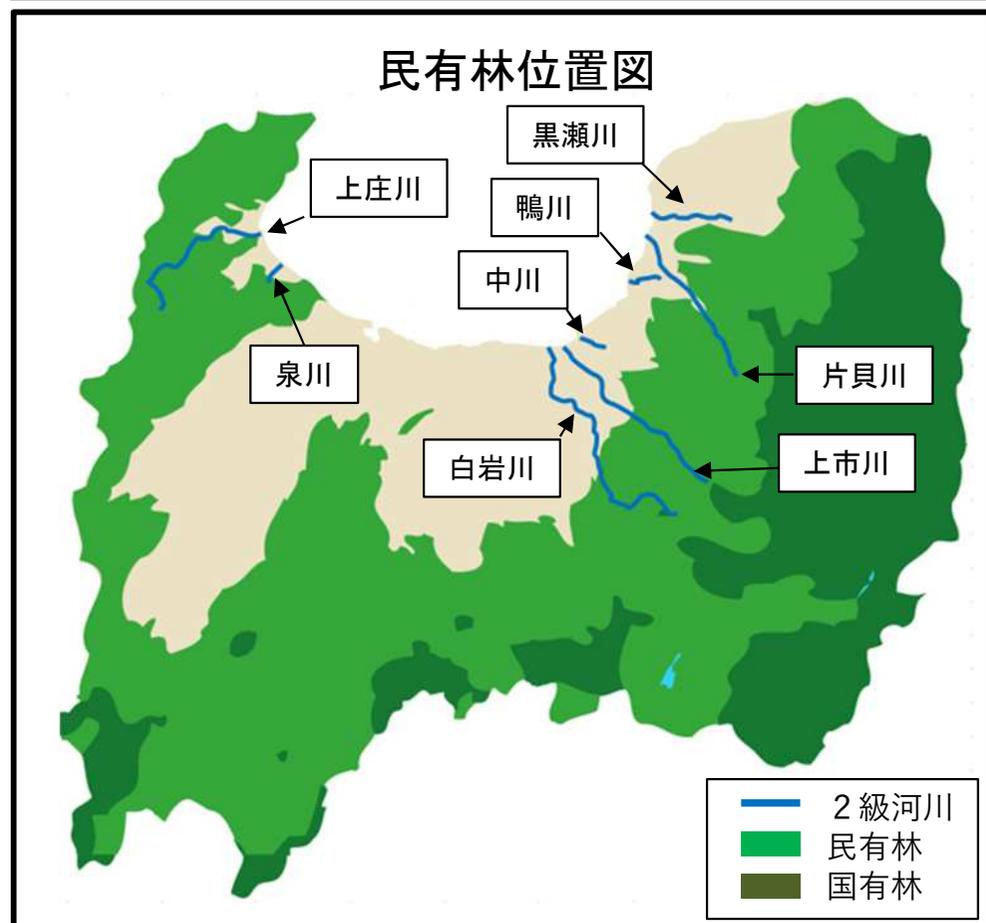
目的	F,N,Es	ダム型式	ゾーン型アースフィルダム
集水面積	1.5km <sup>2</sup>	湛水面積	0.036km <sup>2</sup>
ダム高	29.5m	総貯水容量	325千m <sup>3</sup>

(様式:取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	森林整備・治山対策		
事業・施策の名称	森林整備・治山対策(間伐 治山工)民有林内		
実施場所	黒瀬川流域		

【対策概要】

山地災害から住民の生命や財産を守るため、気象等が起因の山地災害により機能が低下した森林や溪流を対象に森林整備(間伐等)や治山施設の設置を併せて実施することにより、森林等の機能回復を図る。



森林の整備

間伐

(事例)魚津市東城地内

治山施設の設置

流木捕捉式治山ダム

(事例)南砺市大鋸屋地内



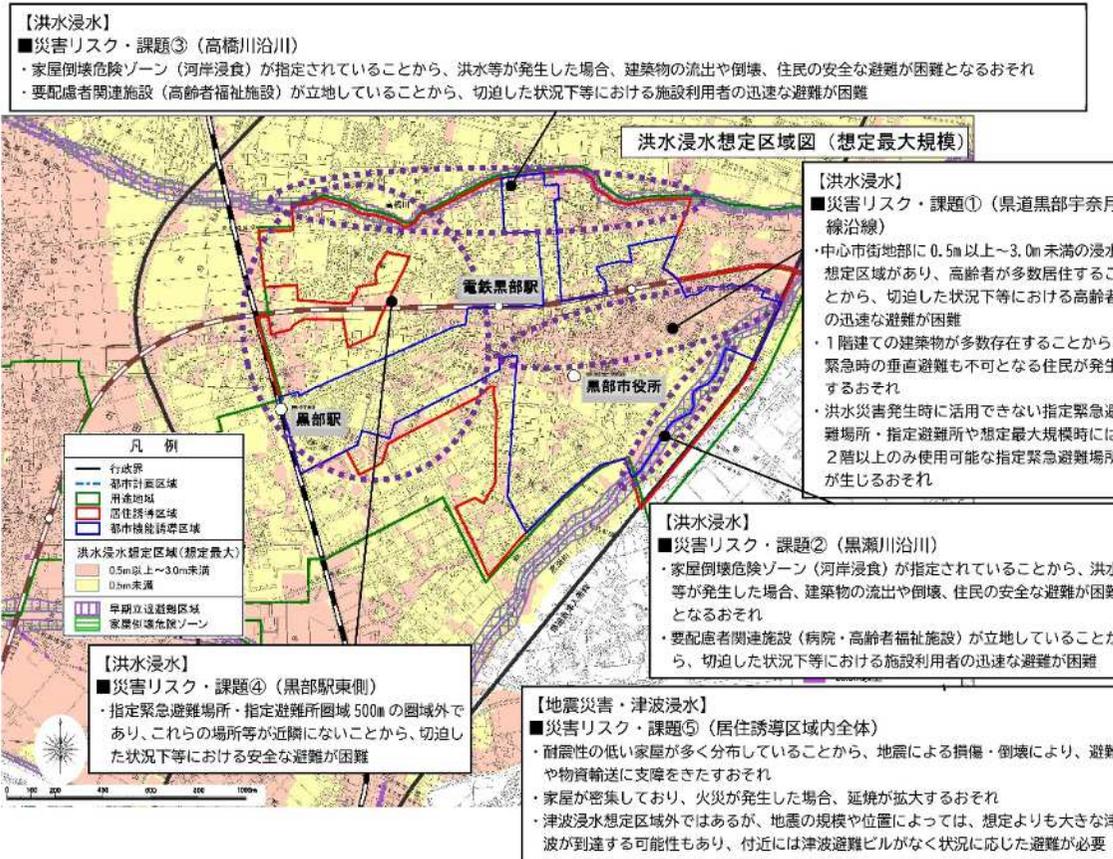
# (様式: 取組事例)

区分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	黒部市
メニュー名	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
事業・施策の名称	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
実施場所	黒瀬川流域		

**【対策概要】**  
 「安全なまちづくり」に向け、令和6年3月に立地適正化計画への防災指針の追加を行いました。

### ■主な災害リスクと課題の整理

災害リスクの重ね合わせ分析を踏まえ、災害リスクの高いエリアを抽出し、各エリアにおける主な災害リスクと課題を以下に示します。



### ■具体的な取組

課題解決に向けた防災・減災対策の具体的な取組として、ハード・ソフトの両面から災害リスクの低減に必要な取組を設定します。

取組方針	具体的な取組	実施主体	実施時期		
			5年	10年	20年
リスク低減(ハード)	市街地整備事業	土地区画整理事業の推進	市	→	
	河川事業	河川改修事業の促進、霞堤の保全※1	国・県・市	→	→
	砂防事業	黒部川上流域などの崩壊対策事業の促進	国・県・市	→	→
	森林整備事業	森林施業・治山工事の推進	県・市	→	→
リスク低減(ソフト)	総合的な都市計画策定とまちづくり	家屋倒壊危険ゾーンの取扱い検討	市	→	
	住環境整備事業	建築物の耐震化への支援・不燃化の促進	市	→	→
	防災対策事業	地域防災体制及び防災基盤の整備推進	市	→	→
		自主防災組織の育成支援	県・市・その他	→	→
	防災情報システムの充実	市	→	→	
	災害に対する意識啓発活動の推進	市	→	→	

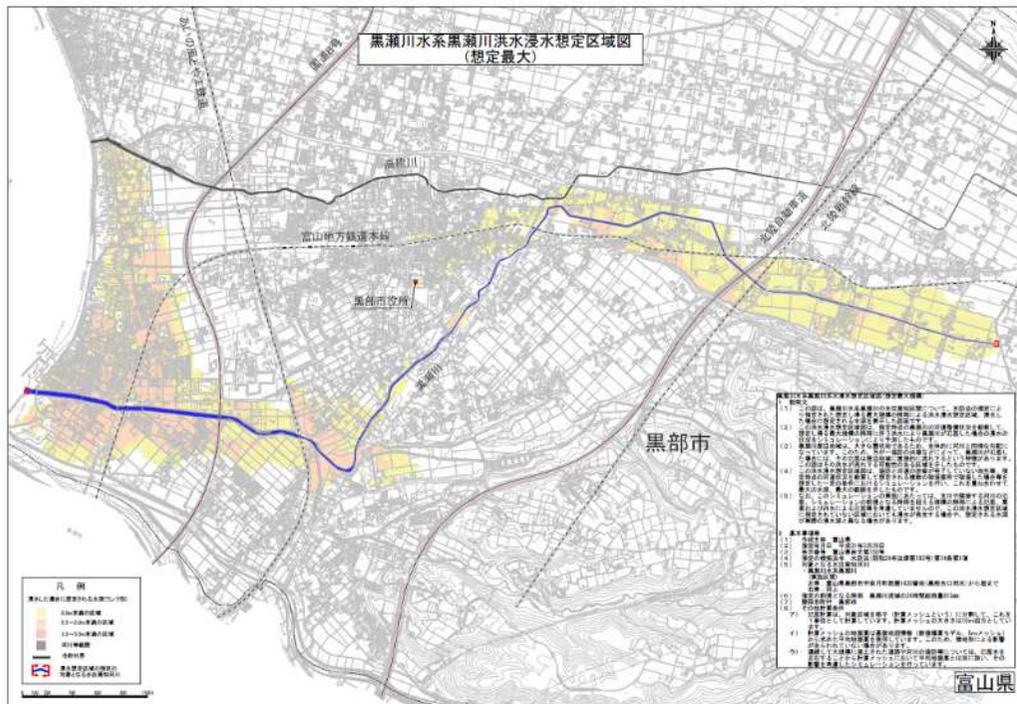
※1 霞堤は氾濫水を河道に戻す、氾濫拡大を防ぐ機能が期待されるが、霞堤内の盛土や工作物により機能を阻害する可能性があることから、霞堤の機能を保全するための土地利用のルールについて検討が必要

(様式: 取組事例)

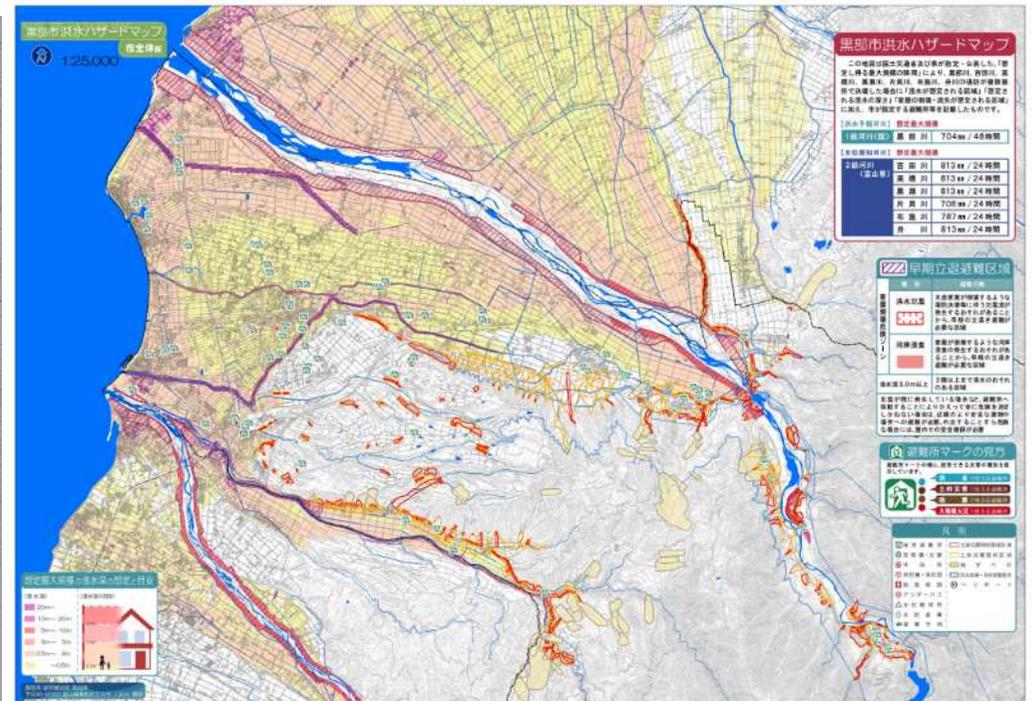
区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、黒部市
メニュー名	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
事業・施策の名称	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
実施場所	黒瀬川流域		

令和元年6月14日に、県内全ての水位周知河川(41河川)について、想定しうる最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図の公表が完了しました。

それに基づき、増水し、堤防からあふれたり、堤防が壊れたりした場合の浸水情報や、避難に関する情報をわかりやすく提供するために、「洪水ハザードマップ」を作成しています。



黒瀬川浸水想定図(想定最大規模)



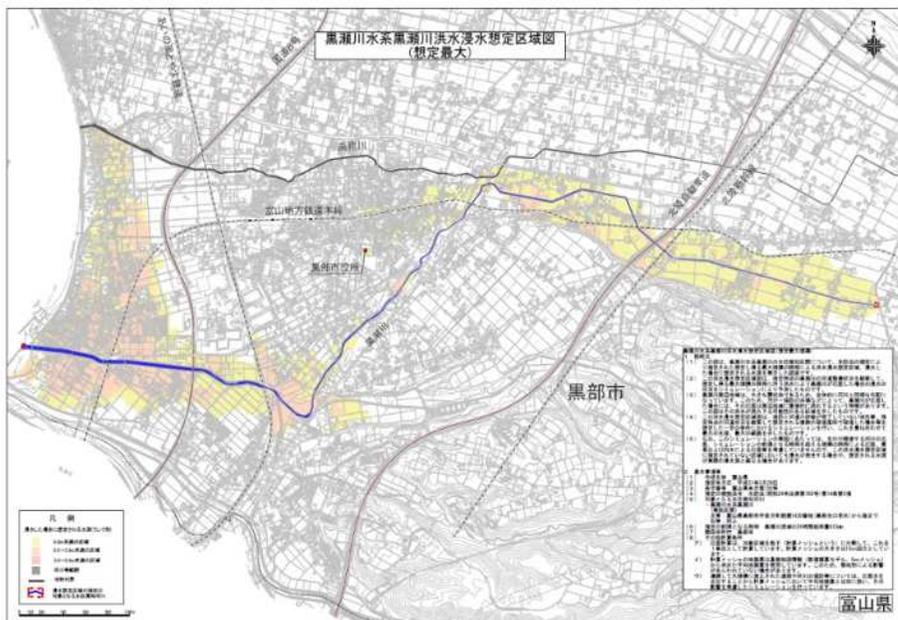
黒部市洪水ハザードマップ(想定最大規模)

(様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
実施機関	富山県、黒部市
メニュー名	避難のためのハザード情報の整備
事業・施策の名称	洪水浸水想定区域図の作成
実施場所	黒瀬川支流の県管理河川

令和3年改正水防法に基づき、人家等防護対象が存する全ての河川について、浸水想定区域図の作成が義務付けられました。黒瀬川支流の県管理河川について、令和7年度に洪水浸水想定区域図を作成し公表する予定です。

- 【取組実績】 令和4年3月～ 対象河川の選定・解析手法の検討を実施  
 令和6年度 洪水浸水想定区域図作成委託業務実施  
 令和7年度 洪水浸水想定区域図の公表



参考例:黒瀬川(本川)(水位周知河川)洪水浸水想定図(想定最大規模)



黒瀬川支流の河川(例:大谷川、神谷川)

(様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、黒部市
メニュー名	要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援		
事業・施策の名称	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進		
実施場所	(対象:市町村地域防災計画で指定された要配慮者利用施設)		

高齢者福祉施設等の要配慮者利用施設における水害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、市町村が開催する施設管理者向け講習会への講師派遣等により、避難確保計画の作成や避難訓練の実施を支援するもの。

【取組実績】

- ・ 令和元年度：南砺市、入善町、黒部市にて講習会
- ・ 令和2年度：魚津市にて講習会
- ・ 令和3年度：富山市にて講習会
- ・ 令和4年度：富山市にて講習会
- ・ 県内の要配慮者利用施設1,650施設中1,539施設（93.2%）で計画を作成済み（R7.3.31時点）



講習会の様子 R4 富山市

4 節災保訓

【防災訓練実施の留意事項】

【施設管理者の役割】

施設種別	避難計画の作成状況	避難訓練の実施状況	備後
高齢者福祉施設	作成済	実施済	○
障害者福祉施設	作成済	実施済	○
児童福祉施設	作成済	実施済	○
その他	作成済	実施済	○

4 節災保訓

【施設管理者の役割】

【施設管理者の役割】

施設種別	避難計画の作成状況	避難訓練の実施状況	備後
高齢者福祉施設	作成済	実施済	○
障害者福祉施設	作成済	実施済	○
児童福祉施設	作成済	実施済	○
その他	作成済	実施済	○

簡易な計画ひな型 (国交省)

(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	河川状況等ライブカメラ情報		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位観測所等		

洪水時における住民の自主避難や市町村長の避難指示等の判断を支援するため、県管理河川等の監視カメラ画像や水位周知河川等の水位状況をインターネットを通じて一般公開している。

【実施概要】

- ・ 公開開始日: 平成30年6月～【R5.3月危機管理型水位計を追加、R6.6月ダムの貯水位等を追加、R7.6月ダムの監視カメラ画像を追加(7ダム)】
- ・ 公開の内容: 河川・海岸・ダムの監視カメラ画像、河川・ダムの水位情報等
- ・ 公開HP: 「富山県河川海岸カメラ・水位情報」 <https://kawa.pref.toyama.jp/camera>

河川・海岸・ダムの監視カメラ画像

ダムの貯水位等を追加 (R6.6)  
ダムの監視カメラ画像を追加 (R7.6)

河川・ダムの水位情報



富山県河川海岸カメラ・水位情報

地域別河川・ダム状況表

河川名	観測所名	現況水位	水防団 待機水位	氾濫注意 水位	避難判断 水位	冠氾濫 水位
新川土木 (魚津市、滑川市)						
新川	新川	0.54m	→ 0.70 m	1.00m	1.00m	1.20m
片貝川	栗城橋	0.33m	→ 1.00 m	1.50m	2.30m	2.50m
早月川	月形橋	0.04m	↑ 1.90 m	2.50m	3.90m	4.90m
中川	中川	0.21m	→ 0.50 m	0.70m	0.70m	0.90m
深田川	深田川	0.21m	→ 0.50 m	0.70m	0.70m	1.00m
角川	住吉	0m	→ 1.10 m	1.40m	1.80m	2.10m
布部川	同西	0.17m	→ 0.70 m	1.00m	1.30m	1.80m
布部川	坂野	0.21m	→ 0.80 m	1.50m	2.30m	2.80m
片貝川	密合橋	0.89m	→ 1.00 m	1.90m	2.40m	2.70m
入善土木 (朝日町、入善町、黑部市)						
黒瀬川	新田橋					1.80m
木流川	木流橋					2.10m
舟川	笠橋					1.60m

国土交通省「川の防災情報」へリンク

(様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	「とやま河川(かわ)メール」配信サービス		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位、ダム貯水水位情報		

とやま河川(かわ)メールは、富山県が管理する河川の水位やダムの貯水水位が基準値を超えた場合に、登録された方へスマートフォンやパソコン、携帯電話にメールを配信するサービスです。洪水時における避難行動や水防団の水防活動などにご活用いただけます。

- 【実施概要】
- ・ 配信開始日:令和6年6月～
  - ・ 配信の内容:受け取りたい河川の水位(46観測所)や、ダムの貯水水位(16ダム)が、各基準値(選択可)を超えた場合にメールを配信

# かわ とやま河川メール

富山県が管理する河川の水位やダムの貯水水位の情報をメールでお知らせします

受け取りたい河川の水位やダムの貯水水位が登録した基準値を超えた場合に、スマートフォンやパソコン、携帯電話にメールが配信されます。

河川が増水し水位の基準値を超えると



自動的にメールを配信



登録ユーザー



自動的にメールを配信



事前に受け取りたい観測所やダムの情報を登録(〇〇観測所の〇〇水位)

ダムの貯水水位が上昇し、基準値を超えると

### 配信内容

水位観測所やダム、基準値を選ぶことができます。

配信項目	基準値
河川水位 (46箇所)	・ 氾濫危険水位 (レベル4)
	・ 避難判断水位 (レベル3)
	・ 氾濫注意水位 (レベル2)
	・ 水防団待機水位 (レベル1)
ダム貯水 (16ダム)	洪水調節容量における貯留割合が ・ 100%の貯水水位 ・ 80%の貯水水位 ・ 50%の貯水水位

【参考】各基準値の内容

河川水位

ダム貯水



(様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、富山市、住民
メニュー名	流域治水ワークショップへの参加		
事業・施策の名称	流域治水ワークショップへの参加		
実施場所	ユウタウン総曲輪 ウェストプラザ(富山市)		

【取組概要】

「流域治水」という概念・取組を普及啓発するとともに、地域住民の幅広い年代の方々が、水災害に対するリスクや河川に対する興味・関心を持ってもらうきっかけとなるよう、自治体や研究機関（大学）と連携した流域治水ワークショップに参加している。

■水とくらしは、どうつながってる？みんなの流域じまん

- 開催日：令和7年7月26日(土)
- 場所：ユウタウン総曲輪ウェストプラザ(富山市)
- 主催：一般社団法人流域ふらっとフォーム
- 共催：富山市、富山県立大学
- 後援：富山県、富山河川国道事務所、富山市教育委員会、中部地方環境事務所
- 協力：東京大学、中央大学、福島大学、宮崎大学 他
- 内容：ポスター展示、ブース出展、グラフィックレコーディング、流域治水に関する漫談・コンテスト



富山県出展ブース状況



流域漫談  
グラフィックレコーディング

